

(仮称) 世羅町学校給食センター整備運営事業

審査講評

令和5年6月12日

世羅町教育委員会

世羅町学校給食センター整備運営事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）は、（仮称）世羅町学校給食センター整備運営事業（以下「本事業」という。）に関して、審査基準書に基づき提案内容等の審査を行いましたので、審査結果及び審査講評をここに報告します。

令和5年6月12日

選定委員会
委員長 吉長 成恭

目 次

I 選定委員会	1
1 委員の氏名及び選任理由.....	1
2 開催日及び案件	1
II 審査結果	2
1 参加資格審査	2
2 提案審査	2
III 審査講評	8
1 各審査項目についての講評.....	8
2 総評	11

I 選定委員会

1 委員の氏名及び選任理由

選定委員会委員は、下記専門性を有する学識経験者で組織されています。

	氏名	所属等
委員長	吉長 成恭	(一社) ちゅうごく PPP・PFI 推進機構 代表理事
副委員長	早間 貴之	世羅町教育委員会 教育長
委員	杉田 洋	広島工業大学 環境学部建築デザイン学科 教授
委員	渡部 佳美	広島女学院大学 人間生活学部管理栄養学科 教授
委員	金廣 隆徳	世羅町 副町長
委員	平尾 浩一	世羅町教育委員会 学校教育課長
委員	矢崎 克生	世羅町 財政課長
委員	山名 智並	世羅町 子育て支援課長

2 開催日及び議題

開催日及び議題は以下のとおり行いました。

回	開催日	主な議題
第1回	令和5年2月7日	・募集要項・要求水準書について ・審査基準書(案)について
第2回	令和5年4月4日	・参加資格審査結果について ・審査方法について
第3回	令和5年5月23日	・基礎審査結果について ・仮評価について
第4回	令和5年6月3日	・ヒアリング
第5回	令和5年6月3日	・最終評価 ・最優秀提案の選定

II 審査結果

1 参加資格審査

参加資格審査書類について、3グループから提出があり、選定委員会での審査の結果、いずれのグループも参加資格を有していることを確認しました。

2 提案審査

(1) 提案書類及び提案価格の確認

参加資格を有する3グループから提出された提案価格書及び提案書類について、各グループが募集要項等の指定どおりにすべて揃っていること、更に提案価格が町の支払総額の上限価格を超えていないことを確認しました。

(2) 基礎審査

基礎審査の対象となった3グループの提案内容について、表1に掲げる基礎審査の審査基準をすべて満たしていることを確認しました。

表1 基礎審査の審査基準

審査項目		審査基準
事業計画	事業工程	・実現可能な事業工程となっているとともに、事業条件が満たされていること。
	提案価格	・算定方法に誤りがないこと。
	町の支払条件	・施設整備に係る対価の算定方法に誤りがなく、支払条件が満たされていること。 ・維持管理に係る対価の算定方法に誤りがなく、支払条件が満たされていること。
	事業実施体制	・事業実施体制が明示されていること。 ・各業務を実施する構成員とその役割が明確に示されていること。
	リスク管理の考え方	・リスクの分担者、分担方法、分担者のリスク管理能力が明示されていること。
	長期収支計画	・長期収支計画全体の計算に誤り等がないこと。 ・各種発生費用の項目及び算定方法に誤りがなく、市場価格と極端に乖離していないこと。
施設整備計画	施設整備計画	・事業計画地の範囲内に配置されており、法令に適合した計画であること。 ・施設の規模について、要求水準が満たされていること。 ・各室が要求水準を反映した基本的性能を備えたものであること。
	調理設備機器整備計画	・調理設備機器の仕様について、要求水準を満たしていること。 ・施設整備計画（給食エリアのゾーニング等）と適合した配置であること。
	施工計画	・適切な施工計画が策定されていること。
維持管理計画	維持管理計画	・各業務の水準について、要求水準が満たされていること。
運営計画	運営計画	・各業務の水準について、要求水準が満たされていること。

(3) 性能審査

① 評価方法

選定委員会は、審査基準書に基づき、審査項目ごとに表2に示す基準により4段階で評価し、それに応じて計算される得点(加点)を付与しました。

表2 性能審査加点項目の評価基準

評価	評価指標	加算割合
A	要求水準書を大きく超え、具体的かつ優れた提案がある	配点×1.0
B	要求水準書を超える具体的な提案がある	配点×0.75
C	要求水準書を満たし、適切な提案がある	配点×0.5
D	要求水準書を満たすものの、懸念点がある	配点×0.25

② 評価結果

性能審査加点項目の評価結果は、表3に示すとおりです。なお、小計は端数表記の関係で見た目の合計金額の和と異なる場合があります。

表3 評価結果

加点項目	配点	登録番号 月	登録番号 花	登録番号 雲
提案全般				
本事業の理解 取り組み姿勢	30	19.1	19.1	23.8
地域課題等への対応	20	11.9	16.3	15.0
提案全般 小計	50	30.9	35.3	38.8
事業計画				
事業収支計画	20	10.0	16.3	16.3
事業継続	20	12.1	15.6	15.0
リスク管理の考え方	20	14.3	16.3	13.1
地域社会、地域経済への貢献	20	9.1	11.3	19.1
事業計画 小計	80	45.6	59.4	63.4
施設整備				
全体計画	60	34.2	41.7	49.7
安全性・防災性	15	11.3	12.2	13.6
機能性	50	31.3	41.6	42.2
経済性・環境性	50	30.0	38.4	46.3
施設整備 小計	175	106.7	133.9	151.7
開業準備				
開業準備計画	20	10.6	15.0	15.0
開業準備 小計	20	10.6	15.0	15.0
維持管理				

加点点目	配点	登録番号 月	登録番号 花	登録番号 雲
維持管理	50	27.8	36.9	43.8
長期修繕計画策定	30	22.5	20.6	28.1
維持管理 小計	80	50.3	57.5	71.9
運営				
運営体制	20	10.0	15.6	15.6
給食調理業務	40	26.3	33.8	33.8
衛生管理業務	30	17.8	22.5	22.5
配送業務	15	9.4	11.3	13.6
アレルギー対応食の提供	20	11.9	15.0	15.6
光熱水費低減に向けた対応	30	16.9	23.4	25.3
運営支援	20	10.6	16.9	19.4
業務従事者の人材育成	20	10.0	16.3	14.4
運営 小計	195	112.8	154.7	160.2
性能基礎点 小計	200	200.0	200.0	200.0
合計	800	557	656	701

※性能評価点は各項目の小計を合計し、小数点第一位以下を四捨五入して算出した。

(4) 価格審査

① 価格評価点の算定方法

価格評価点は、提案書類に記載された提案価格を用いて、次の算式により小数点第一位以下を四捨五入して算出します。

$$\text{価格評価点} = 200 \text{ 点} \times (\text{上限価格} - \text{提案価格}) / (\text{上限価格} - \text{価格評価基準額}^{※1})$$

※¹ 価格評価基準額は上限価格(3,100,000,000円(税込))の85%(2,635,000,000円(税込))とし、計算結果が200点を超える場合は、価格評価点は一律で200点とする

② 算定結果

価格評価点の算定結果は表4に示すとおりです。

表4 価格評価点の算定結果

	登録番号 月	登録番号 花	登録番号 雲
提案価格(税込)	2,867,491,000円	2,843,500,000円	2,946,538,909円
価格評価点	100点	110点	66点

(5) 最優秀提案の選定

① 最優秀提案の選定方法

選定委員会において、性能評価点と価格評価点を合計して表5のとおり総合評価点を算出しました。

表5 総合評価結果

評価項目	配点	登録番号 月	登録番号 花	登録番号 雲
性能評価点	800	557点	656点	701点
価格評価点	200	100点	110点	66点
合計(総合評価点)	1,000	657点	766点	767点

② 選定結果

以上により、総合評価点が最も高い登録番号 雲を最優秀提案者として選定しました。

「登録番号 雲」の構成員及び役割を表6に示します。

表6 最優秀提案者

登録番号	代表企業（役割）	構成員	役割
雲	ハーベストネクスト株式会社 （運營業務等）	株式会社 あい設計 平原建設株式会社 株式会社風呂迫建設 株式会社中西製作所 セラ美装有限公司	設計業務・工事監理業務 建設業務 建設業務 調理設備調達業務等 維持管理業務

その他の応募グループの構成員については表7のとおりです。

表7 次点以降の提案者

登録番号	代表企業（役割）	構成員	役割
花 次点	株式会社ジーエスエフ （運營業務等）	株式会社大建設 有限会社田中建築事務所 山陽建設株式会社 株式会社セラケン 株式会社アイホー 広島アイホー調理機株式会社 株式会社合人社計画研究所 有限会社 ジャパンクリーンサービス	設計業務・工事監理業務 設計業務・工事監理業務 建設業務 建設業務 調理設備調達業務等 調理設備調達業務等 維持管理業務等 維持管理業務等
月	葉隠勇進株式会社 （運營業務等）	中電技術コンサルタント株式会社 株式会社佐藤工務店 矢崎建設株式会社 ソシオフードサービス株式会社 太平ビルサービス株式会社 日本調理機株式会社	設計業務・工事監理業務 建設業務 建設業務 運營業務 維持管理業務 調理設備調達業務等

Ⅲ 審査講評

1 各審査項目についての講評

【提案全般】

審査項目	講評
本事業の理解 取組み姿勢	・ いずれの応募者も業務を実施する上で十分に本事業を理解していた。
地域課題等への理解	・ いずれの応募者も本町の地域課題に対する適切な提案がなされていた。 ・ 登録番号 雲は、地元事業者等と連携した地域循環圏の構築に関する提案が評価された。

【事業計画】

審査項目	講評
事業収支計画	・ いずれの応募者も業務を実施する上で十分に事業継続可能な収支計画が提案されていた。 ・ 登録番号 雲は、本事業終了後も見据えた長期的なライフサイクル低減に関する提案が評価された。
事業継続	・ 登録番号 花は、災害発生時も含めた事業の継続性に関する提案が評価された。
リスク管理の考え方	・ いずれの応募者も要求水準を満たしたリスク管理が提案されていた。
地域社会、地域経済への貢献	・ 登録番号 雲は、地域経済への貢献に関する提案が評価された。

【施設整備】

審査項目	講評
全体計画	・ いずれの応募者とも、HACCP の概念に準じた給食エリアや食材のワンウェイ動線が提案されていた。 ・ 登録番号 雲は、明確な歩車分離に配慮した配置計画や、手作り調理に対応しやすい諸室の配置が評価された。 ・ 登録番号 花と登録番号 雲は設計・施工段階の複層的なモニタリングについて具体的な提案がなされた。
安全性・防災性	・ いずれの応募者とも、空間計画と整合がとれた計画や、浸水想定に配慮した設備計画が提案された。 ・ 登録番号 月と登録番号 花は、災害発生時への備えとして非常用発電機の設置が提案された。 ・ 登録番号 雲は屋上設備スペースも含む避難計画に関する提案が評価された。

機能性	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれの応募者とも、衛生面、安全性及び快適性に配慮した諸室の提案がなされていた。 ・登録番号 花と登録番号 雲は、メンテナンス性や労務負担軽減に配慮した調理設備、手作り給食や保育所給食に対応する各種調理設備に関する具体的な提案が評価された。
経済性・環境性	<ul style="list-style-type: none"> ・登録番号 花と登録番号 雲は、メンテナンス性を高めるピットや屋外設備設置スペースに関する提案や、光熱水費削減のための具体的な提案が評価された。 ・登録番号 月は、再生可能エネルギーの活用が提案された。

【開業準備】

審査項目	講評
開業準備計画	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれの応募者とも、事業開始時から適切に給食提供を行うための開業準備の体制や研修が提案された。 ・登録番号 花と登録番号 雲は実績のある開業準備チームによる遂行に関する提案が評価された。 ・登録番号 雲は、本事業の特徴でもある手作り献立対応や保育所給食などに対する細やかな提案が評価された。

【維持管理】

審査項目	講評
維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれの応募者とも、町との窓口を一本化する一元的な維持管理体制が提案された。 ・登録番号 雲は、町内事業者を主とする維持管理体制や具体的なセルフモニタリング体制にかかる提案が評価された。 ・登録番号 月と登録番号 雲は、本事業のポイントとなる除害設備の重点的な維持管理に関する提案が評価された。
長期修繕計画策定	<ul style="list-style-type: none"> ・登録番号 月と登録番号 雲は、本事業終了後も本施設を稼働させることに配慮した長期修繕・更新計画が評価された。 ・いずれの応募者とも、本事業終了前の事業引継体制及び本事業終了後のサポート体制に関する提案がなされた。

【運営】

審査項目	講評
運営体制	<ul style="list-style-type: none"> ・登録番号 雲は、適切な人員配置や正規職員を含む人員構成が評価された。 ・登録番号 花と登録番号 雲は急な献立変更や食数変更等への協力体制に関する提案が評価された。
給食調理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれの応募者も、町が作成する献立等にしたい、給食をおいしくかつ衛生的、確実に調理するための提案がなされていた。 ・登録番号 花と登録番号 雲は、給食調理手順等や保育所給食の調理提供に関する具体的な提案が評価された。
衛生管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・登録番号 花と登録番号 雲は複層的な衛生管理体制やマニュアル等を活用した研修等に関する具体的な提案が評価された。
配送業務	<ul style="list-style-type: none"> ・登録番号 花と登録番号 雲は、実走を基に立案した配送計画や安全対策が評価された。
アレルギー対応食の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・登録番号 花と登録番号 雲は、工程ごとに実施する配食・配送等の誤りを防止するための具体的な提案が評価された。
光熱水費低減に向けた対応	<ul style="list-style-type: none"> ・登録番号 花と登録番号 雲は、光熱水費削減に係る目標値の可視化や従業員への意識づけの手法にかかる具体的な提案が評価された。
運営支援	<ul style="list-style-type: none"> ・登録番号 花は実績を活かした地域向けの食育支援について具体的な提案があった。 ・登録番号 雲は地元企業や生産者と連携した実現性の高い食育活動が評価された。
業務従事者の人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれの応募者とも、従業員が働きやすい環境・制度づくりに関する提案がなされた。 ・登録番号 花と登録番号 雲は、具体的で実現性の高いスキル向上に向けた取組み等が評価された。

2 総評

本事業は、施設・設備の老朽化が進む世羅学校給食センターを新設し、併せてせらにし学校給食センターを統合する形で、新学校給食センターを整備し、安全で安心な給食提供を継続することを目的とするものです。特に、学校給食衛生管理基準（文部科学省）への適合やHACCP対応により衛生管理を徹底することや、保育所給食の提供も可能な施設・設備の整備及び運営が必要となります。また、現在、世羅町で実施できていない米飯の提供や食物アレルギー対応についても実施するとともに、「世羅町らしい」給食の提供を行うため、給食調理の見学をはじめとした食育推進拠点としての整備をめざすことが重要です。

本選定委員会においても上記のことを念頭に審議を重ねてまいりました。また、提案書類の審査にあたっては、審査基準書に基づき、公正かつ客観的評価を確保すべく、各審査項目について審議を尽くし、最終的な結果を得たところでございます。

さて、今回の優先交渉権者に選定された登録番号 雲のグループの提案では、「世羅町らしい」給食提供の実現のための地元企業活用、第三者を活用したモニタリングの仕組みや食育推進に寄与する施設整備と従業員の教育など具体的かつ効果的な提案が多く見受けられました。一方で、審議の中では、課題として以下の指摘が挙げられました。

- ・付加的と考えられるテストキッチンやポケットパークの提案は、管理・運営の方法次第で新たなリスクが生じる可能性があることを考慮し、事前に協議すること。
- ・開業準備計画の確実な遂行を行うこと。
- ・事業期間を通じて調理食数が減少することが想定されることに関連し、さらなる給食サービスレベルの向上や、施設設置目的を逸脱しない範囲での提供範囲拡大等を町と協議のうえ検討すること。
- ・光熱水使用量の削減のための設備整備と可視化だけでなく、運営維持管理段階における継続的な光熱水使用量削減の取組を行うこと。
- ・各学校と保育所における食育支援に関して、町との連携を図り検討すること。

本事業の事業者選定に係る審査はこれで終了となります。登録番号 雲のグループは、上述した課題となる部分について、今後、世羅町との協議の中で実現可能な具体策を示していただきたいと考えております。その上で、本事業の実施にあたっては参画する全ての企業がそれぞれの役割を確実に果たし、事業期間中に生じる課題等についても世羅町との良好なパートナーシップの下、安全で安心で質の高い学校給食・保育所給食が児童生徒に提供されるよう期待します。